



第5期宮前区区民会議 第4回企画部会（拡大版）

みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう

平成27年2月12日（木）15：00

宮前区役所4階第2会議室

次 第

※今回の企画部会（拡大版）は、高齢者部会の審議内容が中心になります。

- 1 部会名について
- 2 取り組みの方向性
- 3 区民会議フォーラムに向けて
- 4 その他（連絡体制など）

5 事務局より：今後の予定の確認

- (1) 2月16日（月） 第5回企画部会（拡大版／フォーラム企画内容の決定）
- (2) 3月15日（日） 区民会議フォーラム
- (3) 適宜開催 第5回企画部会（中間報告、フォーラム調整）

※当初、区民会議だより第30号は、区民会議フォーラム企画内容の詳細として2月下旬発行を予定していましたが、現時点で詳細内容が決定していないため、発行に間に合わず、見送りいたします。3月下旬に30号を発行する予定です（内容未定）

配布資料

高齢者部会検討事項（川畑部会長作成）

専門部会提案書（仮名）高齢者問題に関する取り組みの部会

部会の目的

高齢者がたとえ一人になっても、病気や障がいをもっても最期まで住み慣れた宮前区で、安心・安全・安楽に生活していける、宮前区独自の「公民連携型地域包括ケアシステム」づくりを目指していく。

そのためには、宮前区の住民が主体となり、行政や関係機関（病院・介護事業所、各種の活動団体）と協力していくことが大事である。

検討課題

①名称をどうするか？

名称案：「高齢者にやさしいまちづくり部会」、「いつまでも暮らしやすいまちをめざす部会」

②方向性をどうするか？

取り組みの提案として、

1. 認知症カフェやコミュニティサロンなどで交流をしている事業所の活動状況調査
2. 社協や自治会、ボランティア団体の活動状況調査
3. 高齢者（65歳以上）の実態把握
4. 医療や介護サービス事業所の状況の提供調査

③区民フォーラム開催に向けて

フォーラム案（コミュニティカフェ区民会議版）

- ・飲み物（お茶かコーヒー）とお菓子を出しながら、グループ分けして一つのテーマで意見交換を行う。
- ・グループは、医療・福祉の専門家、自治会等の各種団体職員、一般住民（できれば年齢層を幅広く）
- ・進行役は（案）各部会委員、記録は（案）区役所担当者が担う。
- ・テーマ（案）としては、「高齢者の孤独・孤立を防ぐために、私達ができること」

以下の現状の課題を踏まえて議論できればと思います。

- ・コミュニティカフェの見学を通して
- ・町内会・自治会活動のなり手が少なくなっており、且つ高齢化してきている
- ・場所によっては新規の方が活動に参加しにくい環境がある
- ・若い区（高齢化率は約18%）ではあるが、自治会加入含め若い世代の参加が少ない
- ・マンションなどが立ち並び、近所との交流が薄くなっている
- ・新しい住民の出入りが多く地元への愛着心が薄い。
- ・自助・共助（互助）・公助のしくみづくり
- ・区民活動の存在が知られていない。
- ・相談窓口がよくわからない。
- ・区役所にいくための動線で坂道が多く、高齢者にとっては厳しい。交通機関が不便である。
- ・男性の平均寿命が全国第2位。但し、元気高齢者かどうかは疑問である。
男性孤立者が増えていくことが予測される。
- ・生活保護にかからない高齢者で、介護保険料も払えず、介護サービスを受けられない方も多くいる。

④その他、メールでの部会連絡体制づくり